専修大学社会科学研究所月報

The Monthly Bulletin of the Institute for Social Science Senshu University ISSN0286-312X

No. 666

2018. 12. 20

目 次

特集 戦中史から国体論へ 一現代日本の古層一

『戦中史』と『国体論』を貫くもの・・・・・・・・・・・・ 恒木健太郎・・・・ 1
はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
1. 共通項としての山田盛太郎『日本資本主義分析』・・・・・・・・・ 1
2. 山田理論の批判的継承と発展・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
3.「構造」と「主体」・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
「戦中史」に於ける「国体」と天皇制 ‥‥‥‥‥‥‥‥ 福井 神一 ‥‥ 14
1.「戦中史」としての日本近代と戦後日本 · · · · · · · · 14
2.「戦中史」を捉える視点・・・・・・・・18
3. 天皇制と「近代」・「前近代」・・・・・・・・・・・・22
講座派的問題設定の特徴と課題について
——『国体論』に対する恒木健太郎氏の議論に寄せて——・・・・ 白井 聡・・・・ 28
1.「講座派は終わった」のか?・・・・・・・・・・・28
2. 「講座派的視角」から見えるもの・・・・・・・・・・29
3. 実体主義の陥穽・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35